天井走行リフトソリューション

Maxi Sky® 2シリーズ

arjo
with people in mind

移乗機器を新たなレベルへ

- 移乗機器のベストプラクティスを促進
- 安全性を重視しつつ、介助が必要な利用者様の移乗時間を短縮[1]
- 天井走行リフトの洗浄と消毒のプロセス効率化をサポート

現代の多忙な介助環境では、天井走行リフトソリューションが患者様の介助効率化の新しい基準になっています。

ある調査によれば、実に75%を超える介助者が、患者様の移乗や介助において、他の移乗機器よりも天井走行リフトを好んでいます。一部の施設では、天井走行リフト導入後に患者様や職員の怪我や賠償請求が70%も低減しました。[2]

ArjoのMaxi Sky 2天井走行リフトシリーズは、あらゆる機能を備えた直感的操作が可能な介助ソリューションです。療養型、および急性期のどちらの介助環境にも適しており、介助者、患者様、利用者様みなさまの安全を守ります。

急性期医療における、医療関連感染 (HAI: Healthcare Acquired Infections) の1日当たりの感染率は6%です。欧州だけでも毎年320万人を超える患者様に影響を与えます。[2]

米国では、HAIの推定年間コストは470億ドルに達しています。[3]

Maxi Sky 2 インフェクションコントロール

感染管理はすべての介助環境において極めて重要です。さまざまな患者様が繰り返し、頻繁に使用している移乗機器も例外ではありません。

Maxi Sky 2インフェクションコントロールは、天井走行リフトでの交差感染のリスクおよび、介助者の負担を減らし、移乗機器を新たなレベルに導きます。

- 無孔素材
- 洗浄と消毒が容易
- 一般的なヘルスケア用消毒液が使用可能

Arjoの移乗機器システム

Maxi Sky 2シリーズは、幅広い用途と使いやすさを持ち合わせています。それぞれの介助環境の特別なニーズや要件に合わせてカスタマイズ可能なソリューションをご提供します。

天井走行リフトは、Arjo KWIKtrakとレイアウトオプションとを組み合わせることにより、人間工学に沿った患者移乗が可能となります。天井走行リフトソリューションは、マニュアルでの移乗作業に関連するリスクを最小限にとどめ、作業効率の向上に役立ちます。

取り付け、方向転換、位置決めが容易

クイックコネクトを使って、3つの簡単な工程だけでスプレッダーバーを交換、設置できる直感的なスプレッダーバー取り付けシステムです。患者様を安全に固定したら、ダイナミックポジションシステム（DPS：Dynamic Positioning System）または電動DPSで患者様または利用者様の座位角度を含めた位置決めを簡単に、しかも正確に行うことができます。

幅広い利用者層に対応した安全耐荷重

安全耐荷重の設定: 272 kg、200 kgまたは120 kgの3段階に設定が可能です。ニーズに合わせて柔軟に対応できます。

介助者一人で操作可能な直観的操作性

使いやすい 手元スイッチと、バッテリー残量などの情報を表示するカラーディスプレイが本体に備わっています。Maxi Sky 2は一人介助の作業手順を最適化します。

インフェクションコントロール対応の新改良

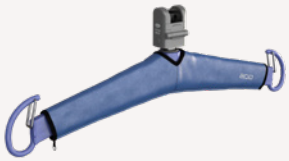
感染防止のリフトストラップやシリコン製のエマージェンシーコード、感染防止カバー付き2点式スプレッダーバーなど、インフェクションコントロール機能を追加してMaxi Sky 2の性能を向上し、HAIのリスクを最小限にとどめます。

幅広いアクセサリーおよびアップグレード製品

Arjoはさまざまな用途に応じたスプレッダーバーやアクセサリーで、
利用者様の日々変化するニーズに的確に対応します。

スプレッダーバーのオプション

インフェクションコントロール・スプレッダーバー



Mサイズ2点式ハンガー

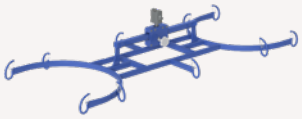
Sサイズ2点式ハンガー

Lサイズ4点式ハンガー

手動式4点式ダイナミックポジションシステム

M.Lサイズ4点式電動ダイナミックポジションシステム

手動式フラットダイナミックポジションシステム



ストレッチャーフレーム

移乗を更に快適にするために、用途に合った幅広い天井走行スリングのラインナップをご提供いたします。スリングには、ループスリングと4点式DPSスプレッダーバーに特化して設計されたクリップスリング、および患者様ごとに使い捨てのシングルユース用などのオプションも取り揃えています。

施設環境に合わせたテイラード仕様

KWIKtrakは様々な要望に対応できる、カスタマイズ可能なレールソリューションです。Maxi Sky 2を導入する居室や病室のあらゆるレイアウトの要件に対応する柔軟性の高いシステムです。また、幅広いタイプの天井に使えるソリューションです。

KWIKtrakは部屋との一体感を重視して設計されています。現在の介護環境とシームレスに統合できるソリューションです。環境効率を損なうことなく、スペースを最大限に活用できる柔軟性の高いシステムです。

素早く導入ができます

特許取得済みのトラックブラケット技術を搭載したKWIKtrakのモジュール型コンポーネントにより、既存の環境に合わせ、迅速かつ短時間でレールシステムを設置し、すぐに使用することができます。

ECS（自動充電システム）

リフト本体がレールのどの位置にあっても、バッテリーは常に充電され、Maxi Sky 2はいつでも利用が可能な状態になっています。

KWIKtrakのカーブレール

KWIKtrak（90 mm）のトラック側面は45度および90度で利用でき、どちらもECSにも対応しています。縦断面が完全に対称であるため、カーブのたわみが発生しません。

移動型トラックレールオプション

KWIKtrakは部屋全体に対応するシングルレールや X-Yシステム、または自立式の簡易型セミパーマネントラックとして組み立てることもできます。

カーテン・パススルー

天井走行のレールがあっても、カーテンがレールの「ギャップ（すき間）」を通り抜けるようにできます。このため、プライバシーが確保され、必要に応じて患者様や利用者様の尊厳を守ることができます。

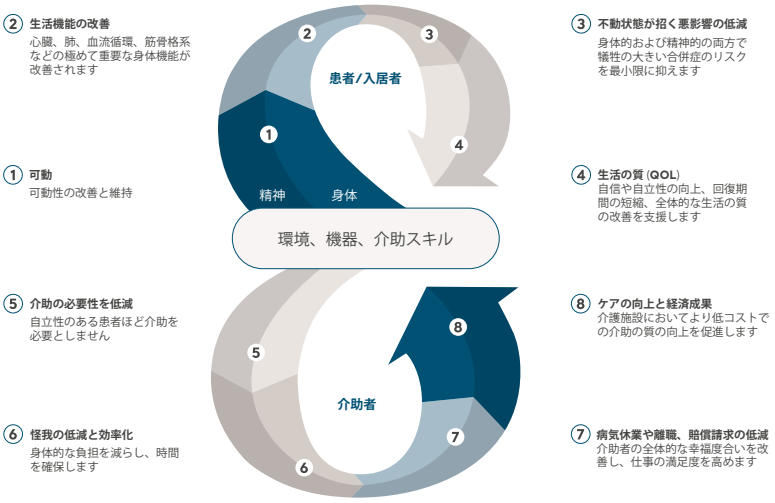
介助における患者様の生活環境の改善

Arjoの哲学 – Positive Eight（ポジティブ・エイト）

この *Positive Eight* の哲学は、患者様の可動性の維持や改善がもたらす、潜在的に有益な連鎖反応を可視化しています。

当社は、*Positive Eight* の哲学に従い、労働環境として適切な前提条件を備えた介護施設を、精一杯サポートし以下の点に努めてまいります。

- 介助スキルにおけるベストプラクティス
- 効率的な介助プロセスが可能となる職場環境
- 患者様の可動性をサポートし、介助者の腰痛などの怪我を低減させる適切な機器の提供



Positive Eight（ポジティブ・エイト）を実現させるためには、適切な**環境**、**機器**、**介助スキル**が必要です

参考文献

1. Alamgir et al (2009) Evaluation of ceiling lifts: transfer time, patient comfort and staff perceptions. Injury, International Journal of Care Injured. 40, 987-992
2. Aslam, I. Et al. (2015) A review of patient lifting interventions to reduce health care worker injuries, Workplace health & safety, 63:6, 267-275
3. European Centre for Disease Prevention and Control, Point Prevalence Survey of Healthcare-Associated Infections and Antimicrobial Use in European Acute Care Hospitals. Stockholm: ECDC; 2013.

March 2019. Arjo は、可動性の低下や加齢に伴う健康問題を抱える方々に対して、日々の生活を改善させるために全力を尽くしています。私たちは、人間工学に基づく移乗機器、衛生管理、感染管理、診断技術に関わる製品や、褥瘡や静脈血栓塞栓症の有効な予防につながるソリューションの提案により、安全かつ尊厳に配慮したケア水準の継続的な向上のためのサポートを、あらゆる専門家の方々に提供しています。私たちは、常に「人」を念頭に置いて、すべての活動を行っています。

Arjo AB · Hans Michelsensgatan 10 · 211 20 Malmö · Sweden · +46 10 335 4500

アルジョ・ジャパン株式会社　〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-8　ランディック第2虎ノ門ビル9階　Tel: 03-6435-6401 · Fax:03-6435-6402

www.arjo.com/ja-jp/